

イベントとマクロ

イベント… 操作の「きっかけ」のこと(マウスをクリックする、何らかのアクションを起こすなど)
マクロ … 一連の処理手続き、プログラムのこと。

住所録メインマクロ	フォーム起動時
前のレコード移動マクロ	コマンドボタンの クリック時
次のレコード移動マクロ	
フォームを閉じるマクロ	

フォームを起動したとき(開いたとき)新しいレコードをすぐに入力できるようにする。
(通常の状態では先頭レコードを表示するようになっている。)

- (1) フォームを「デザイン画面」で開く。
- (2) フォームセクタボタンをクリックする。(デザイン画面の左上角のボタン)
- (3) プロパティの「開く時」のビルドボタン \square をクリックする。(以降 教科書 P.206 の通り)

「前のレコード移動」コマンドボタンの作成

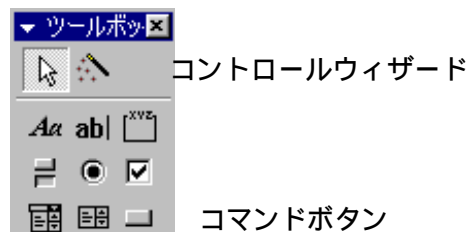
- (1) ツールボックスの「コントロールウィザード」をオフにする。
- (2) ツールボックスの「コマンドボタン」をクリックし、続けてフォームの適当な場所をドラッグ。
- (3) プロパティの設定

名前	前レコード
標題	前のレコードへ

- (4) プロパティの「クリック時」のビルドボタン \square をクリック

マクロ名	前のレコード移動マクロ
アクション	レコードの移動
レコード	前のレコード

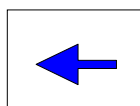
- (5) \square を押して閉じる(保存する)。



ボタンに絵を入れることもできる

- ・プロパティの「ピクチャ」のビルドボタン \square をクリック
- ・適当な絵を選ぶ

例 左矢印(青)



あとから絵を変更することも可能
プロパティの「ピクチャ」ビルドボタン

同様に次の2つのボタンを作成する。

- 「次のレコード移動」コマンドボタン
- 「フォームを閉じる」コマンドボタン(教科書 P.208(4)の通り)

～ が完了したら、初期状態から表示されている「移動ボタン」を消してもよい。
「フォーム」のプロパティの「移動ボタン」 いいえ

残りの住所録データを入力

まだ入力していない住所録データの残りを、ここで入力する。

住所録履歴テーブルの「年」表示について

「2002」「2003」などの年は手入力できるよう、テーブルのデザインを次のように変更する。(P.193)
住所録履歴テーブルのデザイン画面で、「年」の「既定値」の Year(Date()) を消しておく。